

[別紙様式 3]

「山口県新型インフルエンザ等対策行動計画」(案)に対する意見 の募集結果について

山口県では、国の「新型インフルエンザ等対策政府行動計画」の策定を踏まえ、新型インフルエンザ等発生時において、本県の実情に応じ、的確に対応できる体制の整備を図るため、「山口県新型インフルエンザ等対策行動計画」を策定しましたので、公表します。

また、計画の策定に当たり、計画案に対して実施したパブリック・コメント（県民意見の募集）の結果について、併せて公表します。

1 公表する資料

- (1) 山口県新型インフルエンザ等対策行動計画（概要）
- (2) 山口県新型インフルエンザ等対策行動計画（全文）

2 提出いただいた意見とそれに対する県の考え方

- (1) 意見の募集期間
平成25年10月3日（木）から平成25年11月1日（金）まで
- (2) 意見の件数
1人 1件
- (3) 意見の内容と県の考え方

意見の内容	意見に対する県の考え方
<p>新型インフルエンザ等対策行動計画に禁煙推進と受動喫煙防止対策が不可欠です</p> <p>1. インフルエンザのみならず、呼吸器感染症全般（上気道炎、肺炎、結核、季節性インフルエンザを含む）の罹患・重症化の予防、及び死亡リスク対策として「タバコ対策=禁煙推進、受動喫煙の危害防止」が重要ですが、新型インフルエンザ対策行動計画にこの「タバコ対策=禁煙推進、受動喫煙の危害防止」を基本対策として盛り込むことが不可欠です。</p> <p>2. 新型インフルエンザのパンデミックの予防・蔓延防止に備えて県民市民に禁煙を促し、受動喫煙の危害防止対策を推進すること、取り分け「受動喫煙防止条例」の早期制定を連動させて、禁煙推進と受動喫煙の危害防止の徹底遵守・周知が必要です。</p> <p>・インフルエンザと喫煙の関係は、喫煙者は非喫煙者の2.42倍インフルエンザに罹患しやすく、罹患すると重症になることが確かめられています。（喫煙者は非喫煙者の2.42倍インフルエンザに罹患し、症状が重くなる確率は、非喫煙者30%、ヘビースモーカー54%、インフルエンザ患者の31%は喫煙がなければ発病しなかった。Lidia et al. Cigarette Smoking and Infection. Arch Intern Med. 2004;164:2206-2216)</p> <p>・またインフルエンザの死亡のリスク要因は動脈硬化を主とする心血</p>	<p>本行動計画は、法律や政府行動計画に基づき、新型インフルエンザ等対策の実施に関する事項について規定するものであり、禁煙・受動喫煙防止対策について規定していませんが、平成23年に「受動喫煙防止」「喫煙防止」「禁煙支援」を柱として、「山口県たばこ対策ガイドライン」を改定し、対策を講じているところです。</p>

管系疾患、糖尿病、呼吸器系疾患などであり、かつ喫煙及び受動喫煙は、これら疾患の予防可能なリスク要因です。（これらは喫煙で2～10倍増える）

・従って、新型インフルエンザの罹患・重症化・死亡リスクを減らすためには、生活習慣病対策、とりわけ禁煙・受動喫煙防止推進が最も重要な対策のひとつです。新型インフルエンザ対策としてタバコ対策は非常に有効なので、これらの対策を行動計画に盛り込むべきです。

山口県健康福祉部健康増進課母子保健・感染症班

担 当：綿谷 幸治

電 話：083-933-2956

F A X：083-933-2969

Eメール：watatani.kouji@pref.yamaguchi.lg.jp